指 導 係

1 指導関係事業

(1) 学校訪問

指導主事が随時訪問し、学校長をはじめ教職員と協議懇談することにより、学校のかかえる問題点を解明し、指導・助言をした。また、要請により研究会等に出席し、指導・助言を行った。

(2) 研修会

平成 15 年度は、次の研修会を開催し、教職員の資質の向上を図った。

ア	学校経営研修会(校長研修会)	5 回
1	教頭研修会	4 回
ウ	教務・研究主任研修会	3 回
エ	生活指導主任研修会	3 回
オ	進路指導主任研修会	3 回
カ	総合的な学習の時間研修会	3 回
+	コンピュータ実技研修会	6 回
ク	英語活動導入教員研修会	7 回
ケ	心身障害教育研修会	5 回
コ	学校事故等防止研修会	5 回
サ	人権教育研修会	4 回
シ	心の教育研修会	3 回
ス	教育課題研修会	2 回
セ	教科専門研修会	4 回
ソ	教育相談研修会	4 回
タ	1 0 年経験者研修	8 回
チ	初任者研修会	24回
ツ	2 ・ 3 年次教諭研修会	7 回

(3) 音楽鑑賞教室

市立小・中学校児童・生徒の音楽鑑賞教室を、オーケストラ・合唱両部門各1回市民会館において開催した。

(4) 演劇鑑賞教室

市立小・中学校児童・生徒の演劇鑑賞教室を、自校体育館及び市民会館において開催した。

(5) 教育研究奨励、教育研究委託及び事業委託

教育研究を奨励するとともに教育研究及び事業を委託し、教職員の使命の自覚を促すとともに、 資質の向上を図った。

ア 教育研究奨励

- (ア) 福生市教育研究奨励校 2校
 - ・福生第六小学校

研究主題「わかる楽しさ、できる喜びを味わわせるための指導の工夫 算数の基礎 学力の定着をめざして 」

・福生第五小学校

研究主題「基礎学力を身につけて、考える力を深める指導法の研究」

- (イ)教育課題等研究校 2校
 - ・福生第三小学校

研究主題「開かれた学校づくり推進における学校教育コーディネーターの活用」

・福生第四小学校

研究主題「少人数学習による指導の工夫 多様な学習方式を通して 」

- (ウ) グループ研究 9グループ
 - ・福生第一小学校研究グループ植物栽培グループ
 - ・福生第二小学校研究グループ図書館部
 - ・福生第二小学校研究グループ高学年研究グループ
 - ・福生第四小学校研究グループ
 - ・福生第五小学校研究グループ国語研究グループ
 - ・福生第六小学校研究グループ読書・図書館研究グループ
 - ・ 福生第三中学校研究グループ
 - ・小学校研究グループ図工教育研究会
 - ・小中学校研究グループ音楽教育研究会
- (工) 個人研究 7名

教職員5名(東京都教育研究員3名含む。)及び指導主事2名

(オ) 総合的な学習の時間推進研究 3校

イ 教育研究委託

- (ア) 学校経営研究委託(校長会、教頭会)
- (イ) 教科領域等研究委託(教務主任会、生活指導主任会、研究主任会)
- (ウ) 心身障害教育調査研究委託
- (工) 社会科副読本作成研究委託
- (オ) 人権尊重教育推進研究委託
- (カ) 情報教育推進研究委託
- (キ) 国際理解教育研究委託
- ウ 事業委託

中学校進路指導委託

(6) 指導関係資料の刊行

- ア 学校教育指導要覧
- イ 研究紀要

(7) 心身障害教育の推進

ア 心身障害学級在級人数

15.5.1現在

学	級	名	児童・生徒数(人)
一小心身障	害学級(ひ	まわり学級)	10
二小心身障	雪学級 (く	まがわ学級)	9
一中心身障	害学級(8	組)	9

イ 心身障害教育運営委員会

心身障害教育の振興と充実を図るため、市立小・中学校の校長、教諭及びPTA会長等を構成員とする心身障害教育運営委員会を設置、開催した。

(8) 外国人英語教育指導員

国際理解教育推進の一環として、外国人英語教育指導員を各中学校1名計3名配置し、英語授業での担当教諭の助手としての指導、また、小学校へ随時派遣し、総合的な学習の時間における指導をした。

·指導日数 153 日

2 教育相談関係事業

(1) 教育相談室

ア・来室村	目談件数																								(単位	江:件)	
	学年等	幼	児	小	1	小	2	小	3	小	4	小	5	小	6	中	1	中	2	中	3	高有	·校 ·職	小	計	合	計
相談内容		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	平成 15 年度	前年度
	不 登 校					1	1			1	1		3		1	5	2	2	3	1	1		2	10	14	24	18
♪仕+ね 〈 <u> ̄</u> チャ !ー	集団不適応	1		2		თ		3																9		9	16
性格・行動に 関するケース	怠 学																										
	落ち着きなし			1		1		1		1														4		4	
	非行傾向													1				2						3		3	2
精神・神経に	言葉の障害								1						1				1						3	3	5
関するケース	神経症等	1															1							1	1	2	4
知能・学業に	知恵おくれ						1																		1	1	3
関するケース	学習法等																										
進路・適正に	就学相談																										1
関するケース	一般進路																										1
いじ	め																2	1				1		2	2	4	2
そ の	他	2	2	2		2	2	1	1	1	1	3	2		1		1	1			1	1		13	11	24	18
合	計	4	2	5		7	4	5	2	3	2	3	5	1	თ	5	6	6	4	1	2	2	2	42	32	74	70

イ 終結までの延べ面接回数

				~_~																								
回数																											合	計
区 分	1)	1	2	3	4	5	6	7	9	12	13	14	15	17	18	19	20	22	23	24	25	26	30	31	39	46	平成 15 年度	前年度
件数(f	‡)	26	7	4	4	4	1	5	2	1	1	2	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	74	70
延べ面接回数 (『	1)	26	14	12	16	20	6	35	18	12	13	28	45	17	36	19	20	22	23	24	25	26	30	31	39	46	603	696

ウ 電話相談件数 (単位:件)

																							<u> </u>				
	学年等	幼	児	小	1	小	2	小	3	小	4	小	5	小	6	中	1	中	2	中	3	高 有	·校 ·職	小	計	合	·計
相談内容		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	平成 15 年度	前年度
	不 登 校					1	1			1	1		1		2	4	1	2		1			1	9	7	16	5
1/1 1/5 / - Z-Z-1 -	集団不適応			1		1									1									2	1	3	4
性格・行動に 関するケース	怠 学																										
(A) SO A	落ち着きなし							1		1														2		2	1
	非行傾向																	1						1		1	
精神・神経に	言葉の障害														1				1						2	2	
関するケース	神経症等	1															1							1	1	2	
知能・学業に	知恵おくれ																										
関するケース	学習法等																										
進路・適正に	就学相談																										
関するケース	一般進路																										1
ll U	め																										2
そ の	他		1										1					1						1	2	3	6
合	計	1	1	1		2	1	1		2	1		2		4	4	2	4	1	1			1	16	13	29	19

エ 終結までの延べ電話回数

回数(回)					合	計
区分	1	2	3	4	平成 15 年度	前年度
件 数 (件)	18	6	4	1	29	19
延べ電話回数 (回)	18	12	12	4	46	23

(2) 学校相談室

ア 来室相談件数

(単位:件)

	学年等	幼	児	小	1	小	2	小	3	小	4	小	5	小	6	中	1	中	2	中	3	高有	· 校 · 職	小	計	合	·計
相談内容		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	平成 15 年度	前年度
	不 登 校																										9
1/1 1/2 / TEL 1	集団不適応			1				1	1						1	1		1		1				5	2	7	8
性格・行動に 関するケース	怠 学																										4
(X) y O / X	落ち着きなし																										1
	非行傾向													1										1		1	
精神・神経に	言葉の障害																										1
関するケース	神経症等																										
知能・学業に	知恵おくれ																										
関するケース	学習法等							1				1												2		2	4
進路・適正に	就学相談													1										1		1	3
関するケース	一般進路																										
い じ	め				1	1								1	1									2	2	4	3
そ の	他			1					2			1	1	1	1									3	4	7	21
合	計			2	1	1		2	3			2	1	4	3	1		1		1				14	8	22	54

イ 終結までの延べ面接回数

	回数(回)	1	2	5	13	合	計
区分		1		J	13	平成 15 年度	前年度
件	数 (件)	17	3	1	1	22	54
延べ面	接回数 (回)	17	6	5	13	41	168

ウ スクールカウンセラー相談件数

(単位:件)

相談内容		福生第一	-中学校			福生第二	二中学校			福生第三	E中学校			合	計	
THE TOTAL	生徒	保護者	教諭	その他	生徒	保護者	教諭	その他	生徒	保護者	教諭	その他	生徒	保護者	教諭	その他
不 登 校	35	20	48	1	38	68	9		91	28	37		164	116	94	1
友 人 関 係	12	1	4		28				20		1		60	1	5	
集団不適応																
問題行動等	1	2	4		32	21	43						33	23	47	
性格・行動							1								1	
情緒不安定	35	2	11		21	25	10		2				58	27	21	
発達障害	10		4	9	22	10	11						32	10	15	9
家庭・家族の問題	2		2		3				7				12		2	
いじめ	34	8	22	1	10	2	3						44	10	25	1
その他	60		2	1	10	9	6		330	1	1		400	10	9	1
小 計	189	33	97	12	164	135	83		450	29	39		803	197	219	12
平成 15 年度合計	平成 15 年度合計 331					38	32			51	18			1,2	231	
前年度合計		20)3			30	06			20	00			70)9	